



## 実習で学んだこと



|       |   |          |
|-------|---|----------|
| 国     | 籍 | 中国       |
| 職     | 種 | 水産練り製品製造 |
| 実習実施者 |   | 株式会社紀文食品 |
| 監理団体  |   | すずらん協同組合 |

ソウ ユ  
宋 雨

私は技能実習生として日本で働きながら、多くの貴重な経験を積んでいます。日本での研修を通じて、日本の食品加工技術や品質管理の厳しさを学び、日本の職場文化や生活習慣にも触れました。この研修を通じて、技術的なスキルだけでなく、日本社会の価値観や働き方についても深く理解することができました。

紀文食品では、原料選定から製品の出荷まで、厳格な品質管理が行われています。「お客様である後工程に喜んで頂ける食品やサービスを提供する」という理念のもと、温度管理や異物混入防止など細部にこだわる姿勢が印象的でした。どんな作業でも妥協せず、徹底した管理体制が整っていることに感銘を受けました。

また、職場ではチームワークの大切さを学びました。個々の役割が明確でありながら、作業の進行に応じて助け合う文化が根付いています。日本の職場では、個人の責任を果たしたとしても、周囲との協力を重視する姿勢が求められます。この経験を通じて、私自身も責任感を持ち、効率的に仕事を進める方法を学びました。

この中で言葉の壁を感じることもありました。特に、指示の細かいニュアンスを理解する

のが難しく、何度も確認が必要でした。しかし、同僚たちはとても親切で、分からないことがあれば丁寧に教えてくれます。また、言葉だけでなく、態度や表情、ジェスチャーでも意思疎通ができることを実感しました。

実習中、日本の納涼祭に参加しました。地元の人々が協力して屋台を準備し、飾り付けをする姿に、日本のコミュニティ意識の強さを感じました。また、伝統的な衣装を着たり、和太鼓の演奏を体験したりすることで、日本文化への理解も深まりました。

日本での生活を通じて、時間を大切にする文化に触れました。日本人は時間を厳守し、計画的に行動することを徹底しています。電車の正確さやスケジュール管理の徹底など、時間を無駄にしない習慣に影響を受け、私自身も計画的に行動するようになりました。

また、日本人の礼儀正しさにも感銘を受けました。挨拶や感謝の言葉を大切にし、相手を尊重する文化が根付いています。職場では「お疲れ様です」や「ありがとうございます」といった言葉が頻繁に交わされ、良好な人間関係を築く上での重要性を実感しました。

日本での研修を通じて、食品加工技術や品質管理の重要性を学ぶだけでなく、チームワーク、時間管理、礼儀作法といった価値観も身につけました。また、言葉の壁を乗り越える努力や計画的な行動、周囲との協力の大切さなど、今後の人生に役立つ多くのことを学んでいます。

この研修は、単なる技術習得の場ではなく、自分自身の成長の機会でもあります。これからも残りの研修期間を大切にし、さらに学びを深めていきたいと思っています。